

一九九三年出土の木簡

概要

本号では、昨年の研究集会で「一九九三年全国出土の木簡」として報告されたものを中心に、六〇遺跡から出土した木簡の釈文・出土遺構などを掲載した。発掘調査、遺物整理・保管などでご多忙にもかかわらず、ご協力いただいた関係機関の方々に、まずもってお礼申し上げたい。

さて、本号掲載の木簡出土遺跡は、〈木簡出土遺跡一覧〉の通りである。出土遺跡の時代ごとの数は、重複を含めて、古代三四、中世二四、近世七である。

都城跡出土の木簡としては、まず藤原京右京九条四坊(西四坊坊間路東側溝)から出土した木簡が、八世紀初頭に遡る陰陽五行思想を知る上で貴重である。呪符木簡研究に新たな視点を提供するものといえよう。平城宮推定造酒司跡からは、造酒司の召文が酒米・赤米などの荷札とともに出土し、これまでの同遺跡出土木簡や遺構のあり方とあわせて、造酒司の具体像が明らかになりつつある。なお、靈

亀二年(七一六)一〇月の日付をもつ里制の荷札木簡は、郷里制開始時期との関係で注目される。一方、平城宮東院地区からは「大伴門友造」と記す木簡が出土し、新たに検出された南面大垣にとりつく門遺構の性格とともに、今後の検討が待たれる。平城京域では右京二条三坊四坪から万葉仮名表記のある檜扇が出土している。

中央寺院境内出土木簡としては、東大寺境内から「東大之寺」と記した木簡や、「贊支国」の刻字木片が出土し、東大寺の成立過程、造営機関の変遷や用度調達についてのこれまでの知見との関係が問題になる。大安寺旧境内からは宝龜六年(七七五)の年紀を記すものや、曲物底板に鹿らしい動物などの絵を記したものが出土している。時期は降るが、興福寺旧境内からは、多数の将棋の駒が、天喜六年(一〇五八)の年紀を記す題籤軸などとともに出土しており、現在のところ最古の将棋の駒として注目される。

次に地方官衙遺跡(二部集落跡を含む)出土の木簡に目を移してみよう。まず、新潟県八幡林遺跡出土のものは、本誌でも「郡司符」木簡などをこれまで紹介してきたが、本号でも「進丁」を列挙した帳簿様木簡や封緘木簡など、豊富な内容を有するものを多数収録でき

木簡出土遺跡一覧

遺 跡 名	所 在 地	点 数	木簡の年代	遺跡の性格
平城宮跡	奈良県奈良市	136	古代	宮殿・官衙
平城京跡右京二条三坊四坪	奈良県奈良市	8	古代	都城
薬師寺旧境内	奈良県奈良市	3	中世・近世	寺院
※ 大安寺旧境内	奈良県奈良市	50	古代	寺院
興福寺旧境内	奈良県奈良市	20+α	古代・中世	寺院
東大寺	奈良県奈良市	9	古代	寺院
※ 阪原阪戸遺跡	奈良県奈良市	1	古代	祭祀
藤原宮跡	奈良県橿原市	4	古代	宮殿・官衙
藤原京跡右京九条四坊	奈良県橿原市	6	古代	都城
飛鳥京跡	奈良県明日香村	1	古代	宮殿・官衙
※ 定林寺北方遺跡	奈良県明日香村	2	古代	自然流路
※○金剛寺遺跡	奈良県田原本町	1	中世	居館
※ 下茶屋遺跡	奈良県御所市	2	古代	集落
長岡京跡(1)	京都府向日市	38	古代	都城
長岡京跡(2)	京都府京都市	1	古代	都城
○平安京跡左京三条三坊十三町	京都府京都市	86	近世	近世都市
○大坂城跡(1)	大阪府大阪市	17	近世	城郭・城下町
大坂城跡(2)	大阪府大阪市	23	近世	城郭・城下町
大坂城下町跡	大阪府大阪市	30	近世	城下町
○若江遺跡	大阪府東大阪市	7	中世	城館
○西ノ辻遺跡	大阪府東大阪市	6	中世	集落
袴狭遺跡(1)	兵庫県出石町	3	古代・中世	祭祀・集落
袴狭遺跡(2) (内田地区)	兵庫県出石町	1	古代	官衙
砂入遺跡	兵庫県出石町	8	古代	祭祀・集落・水田
祢布ヶ森遺跡	兵庫県日高町	5	古代	官衙
※ 見蔵岡遺跡	兵庫県竹野町	1	中世	集落
※ 木梨・北浦遺跡	兵庫県社町	1	古代	集落
※ 藤江別所遺跡	兵庫県明石市	3	中世	集落
※○阿形遺跡	三重県松阪市	1	中世	集落
※○伊勢寺遺跡	三重県松阪市	1	中世	集落
○御殿・二之宮遺跡	静岡県磐田市	2	古代・近世	河道・祭祀
※○東中館跡	静岡県相良町	1	中世	居館
※○長崎遺跡 (四区)	静岡県清水市	7	中世	集落・河道
※ 八幡前・若宮遺跡	埼玉県川越市	1	古代	集落 (駅家か)
※○大宮遺跡	滋賀県守山市	38	中世	河道
※ 三堂遺跡	滋賀県野洲町	1	中世	集落
鴨田遺跡	滋賀県長浜市	約50	中世	集落
※ 大茂玄遺跡	滋賀県長浜市	1	古代	祭祀
※ 杉崎廃寺	岐阜県古川町	1	古代	寺院
※ 元総社寺田遺跡	群馬県前橋市	3	古代	集落・河道
※ 南A遺跡	福島県郡山市	約100	中世	居館
※○安子島城跡	福島県郡山市	5	中世	城館

1993年出土の木簡

※ 山王遺跡	宮城県多賀城市	11	古代	集落
※ 今塚遺跡	山形県山形市	3	古代	集落
※ 弘田柵跡	秋田県仙北町	1	古代	城柵・官衙
※ 福井城跡	福井県福井市	1	近世	城郭
一乗谷朝倉氏遺跡	福井県福井市	2	中世	城館・城下
※ 戸水大西遺跡	石川県金沢市	9	古代	官衙
※ ○西念・南新保遺跡	石川県金沢市	1	古代	集落
八幡林遺跡	新潟県和島村	72	古代	官衙
※ 宮長竹ヶ鼻遺跡	鳥取県鳥取市	1	古代・中世	集落
※ ○タテチョウ遺跡	島根県松江市	2	中世	河道
※ 円城寺前遺跡	島根県大田市	1	中世	寺院
※ 古市遺跡	島根県浜田市	4	中世	集落
※ 郡山城下町遺跡	広島県吉田町	1	古代	集落
周防国府跡	山口県防府市	3	古代	官衙
※ 初瀬遺跡	山口県山口市	17	中世	寺院
※ 船戸遺跡	高知県中村市	1	中世	集落
※ ヘボノ木遺跡	福岡県久留米市	1	古代	官衙・寺院
※ 原の辻遺跡	長崎県石田町・芦辺町	5	古代	官衙・集落

※は木簡新出土遺跡 ○は1992年以前出土遺跡

た。当遺跡については、文化財保存運動の上で貴重な成果をあげたことも特筆されねばならない。なお、本年九月の新潟での特別研究集会が成功裏に終わり、その成果は本誌次号に反映される予定である。最近の地方官衙関係遺跡出土木簡の豊富な内容には目を見張るものがあり、特に郡ないし郡以下の行政で木簡という媒体が果たした役割について、更に多面的に追求する必要があると痛感される。

岐阜県杉崎廃寺は、伽藍全体の遺存状況が非常によい白鳳寺院であるが、寺域の西を限る溝から九世紀初頭の郡符と考えられる木簡が出土した。一方、上申文書としての「郡司解」が広島県郡山城下町遺跡から出土し、兵庫県袴狭遺跡からは「徴部」と読める題籤軸が出土したことも特記される。なお、奈良県下茶屋遺跡からは「五十戸」記載の荷札木簡が出土しており、近傍に七世紀後半に遡る「里家」の存在を想定する見解もある。

国府関係では、群馬県元総社寺田遺跡からは、人名を記す祓の人名が出土しており、「国厨」などと記す墨書土器とともに注目され、上野国府との関係を考える手がかりが与えられた。時期が下るが、山口県周防国府跡からは「鍛冶」の人名を列挙したと思われる木簡が出土し、平安時代後期の国衙による手工業労働力編成の一端を示している可能性がある。

城柵関係では、多賀城跡の南面に広がる計画的な道路遺構が検出されている山王遺跡から、「弘仁十一年」（八二〇）の年紀をもつ木

簡や、「会津郡主政」の名を記す「解文案」の題籤軸が出土した。特に後者は多賀城（陸奥国府）と郡司との関係についての重要な問題を提起しているように思われ、多賀城跡南面空間の性格の解明とともに今後の調査・研究が待たれる。一方、弘田柵跡からは「調米」の貢進物付札が出土している。

その他の地方官衙・集落関係遺跡出土の木簡としては、石川県戸水大西遺跡から平安時代初期の「中庄」という記載とともに条里名を記す木簡などが出土しており、付近の遺跡との関係など考えるべき問題が多い。山形県今塚遺跡からは、仁寿三年（八五三）の年紀をもつ木簡や公粮支給に関する木簡、「二等書生伴」「調所」などと記す墨書土器などが出土している。兵庫県木梨・北浦遺跡からは、天禄三年（九七二）の年紀を記す「巻数」にあたる木簡が出土し、地方での仏事のあり方を示す点で興味深い。

平安時代末期以降、中世の木簡としては、相良氏の館跡と考えられている静岡県東中館跡から大治年間（一一二六～一一三〇）の木簡が出土している。また同県長崎遺跡からは馬遺体に伴うとみられる塔婆が出土し、梶原氏との関係が推測されている。

兵庫県見蔵岡遺跡から鎌倉時代前半のものと考えられる「前分」の記述のある木簡が出土したが、平安時代の勘会公文などにみえる前分との関係が問題となろう。滋賀県鴨田遺跡からは、宝徳四年（一四五二）の年紀を記す多数の巡礼札が出土したが、出身地記載が特に

注目され、今日までに知られている巡礼札の例ともあわせて、当期の信仰をめぐる交通のあり方を考える上で貴重である。

以上本号掲載の木簡を私見によりごく簡略に概観したが、紙幅の関係で言及できなかった重要なものも多数ある。また解釈などに誤りもあろうかと恐れるが、ご海容をお願いしたい。

なお、本会では、木簡出土年の研究集会で出土情報を報告し、これを翌年の『木簡研究』に掲載するのを原則としているが、諸般の事情で掲載できない場合が増加している。関係機関及び担当の方々のご助力で、これまで未掲載だった遺跡の情報を掲載できたものがある一方、昨年の研究集会で報告のあった遺跡のうち、奈良女子大学構内遺跡、平安京跡左京四条一坊一町、富山県北高木遺跡、福島県荒田目条里遺跡については、今号に掲載すべくして掲載できなかった。この他、木簡が出土していながらこれまでに未掲載の遺跡としては、奈良県西橘遺跡、平安京跡左京九条二坊十五町、同御土居濠遺跡、京都府高内親谷窯跡、兵庫県赤穂城本丸跡、神奈川県佐助ヶ谷遺跡、新潟県春日山城跡、同伝至徳寺跡、石川県横江荘家跡、宮城県山王遺跡、山形県月記遺跡、広島県尾道遺跡、佐賀県姉川城跡などがある。この他にもいまだに掌握できていない遺跡もあろうかと思われる。本会ではこれらについてもできるだけ早い機会に補足していきたいと考えており、関係機関及び読者諸氏のなお一層のご協力を切にお願いする次第である。

（櫛木謙周）